

## 県新人大会における感染症対策について

県新人大会の開催にあたり、U15（中学校）部会では、以下のような感染症対策を立て、大会運営していくこととしました。

感染状況を踏まえての対策のため、今後の状況によっては、対策が緩和されたり、さらに厳格化したりすることも考えられます。感染拡大の遷移に応じ、対策を変更する際は、各チームに迅速に周知いたします。

大会が開催され試合ができること、選手の生命・安全を確保することを最大の目的としておりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

また、感染症予防の詳細については、9/10にJBAより発出された『JBA バスケットボール活動再開ガイドライン（手引き）第2版（2020年9月10日作成）』をご確認ください。

### ① 選手・指導者・大会役員の体調管理について

- 大会開催初日から遡って2週間の体調管理を行い、来場するすべての選手・指導者・大会役員は「**健康チェックシート**」を大会本部に提出してください。
- 大会前にチーム内に陽性者、濃厚接触者が発生した場合、感染してから練習への復帰、大会参加までの日数が妥当であることを確認してください。  
【陽性者】退院または療養施設、自宅等での隔離終了後1～2週間  
【濃厚接触者】隔離14日以上経過  
※上記の期間が経過後、段階的に練習を積んだ選手のみ大会に選手として参加することができる。
- 大会2日前（48時間前）からは症状があった場合の感染リスクが高まるため、各チームでの健康チェックを徹底してください。  
※別表【①】を参照の上、チームの大会参加の可否の判断を行ってください。
- 大会参加日（敗戦日）以降も1週間は経過観察を行い、「健康チェックシート」で選手・指導者・大会役員は体調管理をしてください。1週間後に、発熱症状などの選手がでなかったか、チーム責任者から大会運営代表者（地区総務委員から任命を受けた者）へ報告をしていただきます。
- 勝ち上がっている場合は、大会期間中、継続的に体調管理を行い、毎回「健康チェックシート」を大会本部に提出してください

### ② 審判員（派遣審判員）の体調管理について

- 審判員のガイドラインにそって、実施します。派遣審判員は、体調管理の「健康チェックシート」を会場の審判主任に提出することを義務付けます。
- チーム引率の指導者や大会役員で審判がある場合については、「①指導者の体調管理」に準じます。

### ③ 大会役員の体調管理について

- 派遣審判員同様、体調管理の「健康チェックシート」の提出を義務付けます。

### ④ 会場への入場制限について

- 今年度の大会については、各会場の収容人数やすべての来場者の健康管理が行き届かないなどの観点から、健康管理をしている選手の入場を優先することとし、**保護者の入場を認めないことで運営いたします**。また、各チームにおいても、大人数での来場は、会場での密集を避ける観点から控えてください。

## ⑤ 会場での対策について

- ベンチの椅子は、間隔をあけて設置し、エンドラインをはみ出してもよいこととします。通常、選手15、スタッフ4の19脚で設置しているものを、**控え選手10、スタッフ4の14脚で設置します。**
- 毎試合終了後に、ベンチ、TO席の消毒を行います。**  
消毒を行ったのち、次の試合のチームはベンチを使用してください。それまでは、観覧席で待機をしてください。（完全入替制とします。）
- TO席に消毒液を設置します。タイムアウト終了後、メンバーチェンジ時など**コートに入る前には、手指の消毒**を必ず行ってください。
- ベンチにいるコーチ、選手はマスクを着用**してください。
- 選手、コーチ、審判の試合開始時、試合終了時の握手は控えてください。
- 試合終了後の相手ベンチへの挨拶も行わないでください。
- 試合中の審判のホイッスルについては、**電子ホイッスルの活用も認めます。**ホイッスルを使用する際は、ホイッスルカバーを装着することを推奨します。
- 観覧席（チーム控え場所）がある場合は、**隣の席を1つ空けて使用**してもらいます。**2m程度の距離をとる**ことを原則とします。
- 観戦場所（観覧席、フロア）にいるすべての人にマスクを着用**してもらいます。
- 選手控え場所では、密集・密閉をさけるようにしてください。
- 試合終了後は、速やかに会場を退場をしてください。また、会場内、会場外での密になってのミーティングは控えてください。

## ⑥ その他

- 感染拡大の状況に応じて、急遽試合形式等を変更したり、試合日の延期や中止をしたりすることがあります。
- 大会が途中で中止となった場合や、参加チーム内および学校内、これまでの対戦相手に感染者や濃厚接触者が発生して出場辞退（棄権）となった場合、参加費の返金はいたしません。
- 組合せ決定後、出場チーム数の10%程度のチーム数が出場辞退をした場合、愛知県バスケットボール協会U15（中学校）部会において協議したうえで、県新人大大会の開催を中止する場合があります。**
- 感染症拡大防止対策としての大会参加の可否については、各市町村教育委員会から発出している「部活動ガイドライン」や学校長の判断に従ってください。

感染症対策に関する問い合わせ先

西尾張地区 総務委員長 野村 優貴

（勤務先：一宮市立北部中学校 電話0586-28-8751）

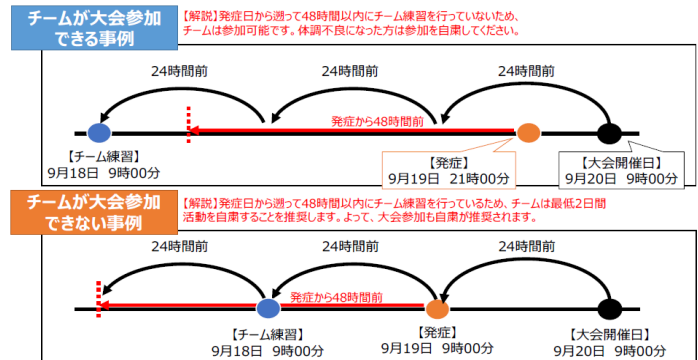
U15部会長 坂野 貴則

（勤務先：名古屋市立神の倉中学校 電話052-878-6007）

## 【別表①】

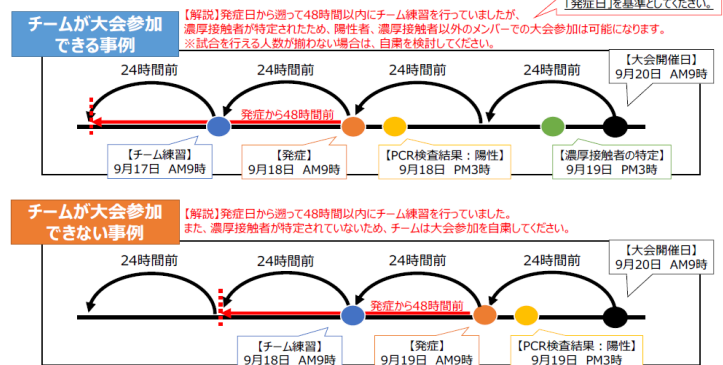
- 大会 2 日前（48 時間前）からは症状があった場合の感染リスクが高まるため、各チームでの健康チェックを徹底してください。
- 大会前日から大会中に感染が疑われる**体調不良者（陽性者の判定が出ていない）**がある場合は、チームとしての大会参加を自粛してください。  
【右図 大会参加可否の事例①参照】

### 【大会参加可否の事例① チームから**体調不良者**が発生した場合】



- 大会前日から大会中に**陽性者が判明したチーム**は出場を辞退（棄権）していただく場合があります。ただし、チーム所在地の保健所等関係機関の指導により「**陽性者、濃厚接触者ではない**」と判定された「**体調が良好な者のみ**」であれば大会への参加を認めます。  
【右図 大会参加可否の事例②参照】

### 【大会参加可否の事例② チームから**陽性者**が出た場合】



- 大会前日から大会中に**濃厚接触者が判明したチーム**は出場を辞退（棄権）していただく場合があります。ただし、チーム所在地の保健所等関係機関の指導により「**陽性者、濃厚接触者ではない**」と判定された「**体調が良好な者のみ**」であれば大会への参加を認めます。  
【右図 大会参加可否の事例③参照】

### 【大会参加可否の事例③ チームから**濃厚接触者**が出た場合】

